

Nさん： もう一点ですが、来年度の『龍馬伝』に関して、高知県は観光客を受け入れ、かなりの増収、増員が見られると思います。その中で高知の名物と言いましたらタタキになるわけですが、県外の宿泊者に高知で周年取れている野菜、食材が、どこにいても食べられるようなシステム作りはお考えになってきていますでしょうか。

知事： まず自分で売り込んでいってください。どこへ行っても野菜が食べられるシステムを県が作ることはできないですが、逆にどこへ行っても高知県の産物が目に付くような、おみやげ物、食べ物などをできるだけPRできるような態勢を一生懸命作るべく努力はしています。いつも私は、観光を売り込む時には必ずものを売る、ものを売る時には観光を売る態勢にすべきだと話をしてしています。だから、外向きにもものを売っていく時には、必ず観光の「土佐・龍馬であい博」もPRしています。逆に県内で「土佐・龍馬であい博」でものを売り込んでいかれる方、地域においてぜひ地域の特産品のみやげ物作りを進めましょう、地域の特産品を食べてもらうような態勢を作りましょうと地域の観光のアクションプラン、さらにはコンベンション、地域の観光協会の皆様で考えていただいています。もう一つ、自分で営業もやっていただくことが必要だと思います。県でそんな態勢を全部揃えて、「こういうふうな態勢を揃えたから皆さん出してください」というわけには当然いかないわけです。「長崎は観光がすごい盛り上がってるぞ。“龍馬が愛したコーヒー”とか“龍馬が愛したカステラ”らあて作って売りゆうに。知事、どうしよらあ、はようあんたもやらんかえ。」と言われますが、違うでしょう。“龍馬が愛したコーヒー”、“龍馬が愛したカステラ”は長崎県庁が作っているわけではないです。民間の既にコーヒーとかカステラがあって、そのパッケージを商売に聡い人が、龍馬の何とかとかそういうものを作って、売っておられるんです。商魂たくましくやっておられる県だと思います。ぜひ高知県の中でもいろいろな形で、各地域において『龍馬伝』に合わせたみやげ物ができる、『龍馬伝』に合わせたメニューができる、その時にはぜひ地産地消の品物を作る、そうでないと観光客には受けません。そういうことを今一生懸命奨励をしてるところです。県も奨励しますので、ぜひどんどん売り込みをかけていただきたいと思います。

Nさん： 実は嶺北の野菜がある12店舗のレストランでシェフとのコラボが現在進んでいます。我々農家としても、園芸部としても動いていないわけではないです。ぜひそういうところを、また何かのところで力添えをお願いできたらと思います。よろしく願いします。

知事： 冒頭でいろいろな所に営業活動に行っていると言いましたが、私だけではないです。コンベンション協会しかり、いろいろな所が営業に行きますが、営業をかけていくための統一のパンフレットを作っています。そこには、この地域ではこういうものが見られて、こういうものが食べられるということを入れて作っています。そこに入れる非常に魅力的な情報を、今たくさん集めているところで、例えば嶺北ではこういうもので、ああいうものでという情報を振興監にも集めるように言ってありますから、そういう情報をぜひ教えていただいたら、観光コンベンション協会などと繋いで全国営

業用のパンフレットなどの中に入れていきます。そうすれば、全国的にいろいろな広がりも出てくると思います。そういう形でコラボさせていただければと思います。よろしくをお願いします。